読んで！見て！絵本

お話だけでなく、絵でも楽しませてくれる絵本は、小さな子だけのものではありません。大人になってハマる人もいるくらい魅力的なものです。
今回は、高井戸図書館のおはなし会で絵本の読み聞かせを行っている児童書のプロたちが、YA 世代にオススメの絵本を選んでくれました！

『義経千本桜』橋本治・岡田嘉夫の歌舞伎絵巻
竹田出雲/原作　ポプラ社
歌舞伎の舞台のような、色鮮やかで大人がコレクションしたくなるような絵本。現代文で書かれているので、親しみやすく、分かりやすい。読まなくても、ぜひ手に取って鑑賞してほしい一冊。庶民に歌舞伎が流行した、江戸時代の粋や感性を楽しんで！

『遠い町から来た話』
ショーン・タン/著　河出書房新社
何の変哲もないと思っている毎日の生活。でもそれは、あなたが気づいていないだけ。小さな不思議の扉は思わぬところにあり、そこから非日常の世界が広がります。あなたの隣の奇妙な世界を、絵と文で紹介します。

『絵本「旅猫リポート」』
有川浩/文　文藝春秋
一人の青年が一匹の猫の新しい飼い主を探すため、一緒に旅をするというストーリー。物語の結末としては切ないのですが、二人の間で共有されていた時間や絆は、悲しさだけで終わるのではなく、どこか心温まるような…。そんな不思議な魅力を感じる絵本です。

『けだらけ』ミロコマチコ画集
ミロコマチコ/著　筑摩書房
「オオカミがとぶひ」や「てつぞうはね」などの独自の世界で知られる絵本作家・ミコロマチコさんの画集です。太い腕のゴリラやもの言いたげなフクロウ、しっぽの長〜いサルや、眼光するどいヒョウなど、迫力満点で生命力に満ちあふれた動物たちが魅力的です。

『おこだでませんように』
くすのきしげのり/作　小学館
やることなすこと空回りで、学校でも家でもとにかく怒られてばかりのぼく。七夕さまの短冊に書いたいちばんのお願いは……。
ぼくの健気さに、うっかり目から熱いものが……。

『はいチーズ』
長谷川義史/作　絵本館
独特の画風とユーモアで人気の絵本作家による、「あこがれの食べ物を食べたとき」のお話です。そうそう、そういうのあるよね〜と、誰しも共感できて思わず笑ってしまう、年齢を問わずオススメしたい一冊！

夏休み、中高生によるおはなし会を行います！

毎週水曜日に高井戸図書館で行っているおはなし会で、こどもたちに絵本の読み聞かせをする中高生を**絶賛募集中**です。興味のある人は、スタッフまで。

高井戸中学校の扉が開放されます！

期間：7/21(火)〜24(金)、27(月)〜31(金)の 10 時〜12 時
高井戸中学校の図書室につながっている 2 階の扉が開放されます。
年に数回の貴重な機会。ぜひ高井戸中学校の図書室を見に来てください！